

ぴっぷ議会だより



新しい制服に
夢と希望をつめこんで

- 2 審議結果「第1回定例会」ほか
- 4 一般質問
- 7 令和2年度予算審議
- 12 委員会報告

4月7日 比布中学校入学式

大きめの制服に身を包んだ新入生38名
これから始まる新生活への期待と緊張の表情が
見られました。



令和2年度各会計予算など議案26件を審議

3月9日～12日

第1回定例会

3月9日から12日に開かれた令和2年第1回定例会では町の課題等に対し、3議員が一般質問をしました。議案26件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4～6ページに掲載しています。

条例

◆固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例
法律の改正に伴う条例改正です。
【原案可決】

◆比布町手数料条例の一部を改正する条例
法律の改正に伴う条例改正です。
【原案可決】

◆町有住宅使用条例の一部を改正する条例
旧蘭留小学校の教員住宅を売却したことに伴い管理戸数が減少したため条例を改正するものです。
【原案可決】

◆地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い関係条例を整備するものです。
【原案可決】

◆比布町役場課設置条例の一部を改正する条例
保健福祉課衛生係の業務の一部を税務住民課に移管することなどに伴う改正です。
【原案可決】

◆職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
比布町役場からの移動距離等を考慮し、日帰り出張に際して日当の範囲を変更するものです。
【原案可決】

◆比布町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
道路法施行令の一部改正に伴い占用料を改正するものです。
【原案可決】

◆比布町道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例
道路構造令の一部改正に伴う条例改正です。
【原案可決】

◆比布町営住宅管理条例の一部を改正する条例
入居の際の保証人を連帯保証人として2名から1名に改めるとともに、民法の改正に伴い連帯保証人が保証する極度額を入居時家賃の12か月に相当する金額とするものです。
【原案可決】

◆比布町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例
入居の際の連帯保証人を2名から1名に改めるとともに、民法の改正に伴い連帯保証人が保証する極度額を入居時家賃の12か月に相当する金額とするものです。
【原案可決】

補正予算

【令和元年度】

- ◆一般会計(第8号・第9号)
- ◆国保特別会計(第3号)
- ◆後期高齢者特別会計(第2号)
- ◆介護保険特別会計(第3号)
- ◆観光事業特別会計(第2号)

令和元年度各会計補正予算（第1回定例会）	
一般会計（第8号）	1億5,517万8千円の減 （総額40億4,777万1千円） ■火葬場維持管理事業、道路新設改良事業の減ほか
一般会計（第9号）	438万6千円の増（総額40億5,215万7千円） ■担い手確保・経営強化支援事業の増
国民健康保険特別会計（第3号）	8万円の増（総額5億6,274万6千円） ■事務処理委託料の増ほか
後期高齢者特別会計（第2号）	70万3千円の増（総額6,615万2千円） ■後期高齢者医療広域連合納付金の増ほか
介護保険特別会計（第3号）	5,019万1千円の減（総額6億509万9千円） ■介護サービス給付費の減ほか
観光事業特別会計（第2号）	500万円の減（総額1億4,022万4千円） ■スキー場運営事業の減ほか
簡易水道事業特別会計（第2号）	739万6千円の減（総額2億677万4千円） ■簡易水道等施設整備事業の減ほか
公共下水道事業特別会計（第2号）	343万円の減（総額6,602万2千円） ■下水道施設整備事業の減ほか
令和2年度各会計補正予算（第1回定例会）	
一般会計（第1号）	0円（総額35億6,500万円） ■町立学校運営事業に係る支出科目の変更
令和2年度各会計補正予算（第2回臨時会）	
一般会計（第2号）	4億982万4千円の増 （総額39億7,482万4千円） ■新型コロナウイルス感染症対策に係る事業費の増

第1回比布町議会定例会は、新型コロナウイルス感染症の予防・拡大の防止のため、傍聴者の皆さんに手指の消毒、マスク着用へのご協力をいただきました。また、町議会議員、出席職員もマスクを着用の上、審議しました。

今後も議会傍聴の際は、マスクの着用等へのご理解・ご協力をお願いします。



◆簡易水道事業特別会計（第2号）
◆公共下水道事業特別会計（第2号）
【令和2年度】
◆一般会計（第1号）
補正額と総額、主な内容は左表のとおりです。【原案可決】

発議

◆議会改革特別委員会の設置
議会改革の推進について調査・研究を行うために設置するもので、議員提案のとおり可決しました。
なお、本委員会は議長を除く全議員によって構成され、委員長に

佐藤康則氏、副委員長に今井明信氏が選任されました。【原案可決】

決議

◆「民族共生の未来を切り開く」決議
平成31年4月にアイヌ新法が成立し、ウポポイ開設を機に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため、比布町議会は町民の協力を得て「民族共生の未来を切り開く」決意を表明しました。【原案可決】

第2回臨時会
5月1日

◆財産の取得
次の財産を取得するものです。【原案可決】

- びつぷクリニックCT一式（賛成7 反対1）
- びつぷクリニック電動ベッド等医療機器一式（賛成7 反対1）

◆一般会計（第2号）
補正額と総額、主な内容は左表のとおりです。【原案可決】



加齢性難聴者への補聴器助成を

村中町長

財源の確保が必要 他の施策とのバランスを考慮したい



遠藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

高齢化に伴い耳が聞こえにくくなる加齢性難聴により生活に支障が出ている人から、補聴器は平均価格が15万円と高額で「高くて買えない」との切実な声が届いています。

補聴器補助は「障害者手帳」交付者（70デシベル以上の聴力、または、片側の耳の聴力が90デシベル以上であり、もう片方が50デシベル以上）が受けています。

聴力が弱くなることで、うつ病や認知症の原因にもなることが指摘されており、中度・軽度の加齢性難聴者への補聴器購入助成などに取り組み自治体が広がっています。

超高齢社会において難聴者の聞こえを支援するのは喫緊の課題です。補聴器をつけることで仕事や社会参加、行動範囲も広がります。社会的活性化にもつながります。国への公的補助を求めていくと同時に、医師の診断のもとに必要な方に補聴器助成をする考えはあるか、町長に伺います。



■答弁・村中町長

補聴器により「聞こえ」が改善し、仕事や社会参加が促され、行動範囲も広がり、より充実した社会生活や日常生活につながることは深く理解し、共感するところではあります。独自の助成制度を行うためには、財源の確保が必要です。今後、財政の健全化に取り組みつつ、他の施策とのバランスも考慮した上で必要な独自の助成制度の充実に努めていきます。

□質問・遠藤議員

WHO（世界保健機関）では中程度41デシベルから補聴器をつけることを推奨しています。この段階から補聴器をつけたほうが良いということに関してどう思われますか。

■答弁・村中町長

誰もが不自由なく生活できる環境、そして、障がいの有無に関わらず社会参加できる環境というのは非常に大切なものと思っています。

□質問・遠藤議員

先進的な自治体では、すでに18歳未満の中度・軽度の難聴児に対しての補聴器購入と修理代に要する費用の一部助成が始まっています。

す。この事業は両耳の聴力が30デシベル以上で、身体障害者手帳の交付者でない人にも拡大されています。

将来的には、高齢者だけではなく65歳以下の難聴といわれている中度・軽度難聴者に対しての事業実現を希望しており、年齢に関係なく難聴者に対して優しい事業になると考えます。

日本の補聴器の普及は欧米に比べて遅れているともいわれています。国の公的補助に含まれるまでは各自治体で助成をしていくことで生活の質が上がります。暮らしやすい町になると思います。すぐにはならなくても、一日も早い助成に踏み切るように考えていただきたいと思います。

■答弁・村中町長

令和元年度から新生児の聴覚検査に対して独自で支援をしています。補聴器の支援は必要ないということは思っておりませんので、将来的に実現できればと思っています。





比布町における教育の目標は

北川教育長

大きく変化していく時代を生き抜く 「生きる力」を育みたい

□質問・植西議員
比布町の教育は将来何を目標にしたいとお考えですか。

■答弁・北川教育長

予測不能な将来で「生きる力」を身につけさせていくことが求められています。社会総がかりの教育改革を進めていく必要があると考えています。

□質問・植西議員

学校運営協議会では目標をどのように共有していくのかをお聞かせください。

■答弁・北川教育長

学校運営協議会では、学校だけに教育を任せておくわけではなく、保護者、地域が一緒になって子どもたちを育てていくという意識に変わってきたと思います。

地域では何ができるのか、保護者としてどういうことができるのかといったことが自発的に共有されてきていると思います。

□質問・植西議員

ある程度知識を持つている方が議論していくことが、教育環境を整える上では必要なことだと思います。

学校運営協議会のメンバーをど

のくらの期間で入れ替えていくのかお考えをお聞かせください。

■答弁・北川教育長

現在18名の委員で構成していますが、もう少し多くてもいいと思います。

学校、地域双方の思いや願いというものが、少しずつくみ取ることでできているところですので、今後さらに進めていきたいと思えます。

一人でも二人でも新たに委員を加えながら子どもたちを育てるということに関して進めていければと考えています。

□質問・植西議員

学校教育の道徳というものを一つの柱として据えるのであれば、公共の福祉という理念をしっかりと子どもたちに共有していくということが必要かと思えます。教育長の見解をお聞かせください。

■答弁・北川教育長

私は、道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うものと考えています。

道徳が教科化され、子どもたちが道徳的価値を自分事として理解し、物事を多面的・多角的に考え、いろんな立場になって考えられる、

そして、相手の気持ちになって考えられる、そういったものを培うのが現在の道徳だと思っています。相手をいたわり、思いやる心を育むことは、幼少期からしっかりと身につけさせていくべきもので、道徳教育の大切な一つと考えています。

また、多様な考え方を認め合う中で、人として積極的に行うべきことやしてはいけないことがあることもしっかりと指導していかねればならないと思えます。

□質問・植西議員

学校運営協議会を進めていく思いと指針をお聞かせください。

■答弁・北川教育長

昨年度は熟議を中心に進めてきましたが、次年度はこれまでの学校運営協議会を検証し、協議会として何ができるのかに視点を置きながら、行動を起こしていければと考えています。

比布の子どもたちが幸せになるため、学校、保護者、地域に何ができるのかを検証し、18名の委員に意見をいただきながら、確かな学校運営協議会を一つひとつ進めていきたいと思います。



ヴォレアス北海道と 子育て部門での連携について

村中町長

プロスポーツ選手とともに得られる 感動体験をまちづくりに生かしたい



大熊 勝幸 議員

□質問・大熊議員

比布町に練習拠点を置くプロバレーボールチームのヴォレアス北海道は、2部に昇格した今シーズンも順調に勝ち進み、1部リーグ昇格も夢ではない状況でした。

関係自治体として町民全体で機運を高めていくためには、さらに町との関わりを深めていく取り組みが必要だと思えます。

プロスポーツチームの関係施設が町にあるということは、特に子どもたちにとっては非常に夢のある貴重な環境です。

そこで、ヴォレアス北海道との取り組みについて、比布町の最重要政策である子育て政策やスポーツ振興にどう連携させていくのか、町長の考えを伺います。

■答弁・村中町長

本町と株式会社ヴォレアスは、相互の包括的な連携協力のもと、スポーツ・文化が地域に根付き、個性豊かな地域社会の形成と発展に資することを目的として、平成30年7月30日に協力協定を締結し、旧比布中学校校舎及び体育館は「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス」として新たな歩みを始めました。

プロスポーツチームが地域にあることにより、地域の情報発信力やイメージの向上、また、地元

チームを応援することにより、住民の一体感が育まれることが期待されます。また、今後改修が予定されている「ヴィレッジ・バイ・ヴォレアス」が、町民の集いや健康増進などを目的とする施設として生まれ変われることを期待しています。

令和元年度よりスタートしました「運動と食による脳の活性化事業」は、町民の皆様の運動習慣の定着と、食生活の改善により、脳を健康に保ち、生涯にわたって心身ともに健康で暮らすことができるよう、世代別のプログラム構築を目指しています。

町民の皆様が選手から直接指導を受けることにより、特に子ども達にとっては正しい体の動かし方や体を動かすことの楽しさなどを体験する機会の充実が図られると考えます。

運動やスポーツから得られる感動体験をプロスポーツ選手とともに心と体で感じるにより、ヴォレアス北海道を応援する機運が新たに醸成されてくるものと考え、この際に生まれる一体感を今後のまちづくりにも生かし、町民の皆様が生涯にわたって心身ともに健康で暮らすことができるよう、その発展につながる大きなチャンスと捉え、連携を深めてまいります。

□質問・大熊議員

協力協定が締結され、期待している町民も大勢いると思えますが、1部リーグ昇格後に本拠地を札幌や帯広などに移すという報道もあり、旧校舎の利用がどうなるのかという心配もあります。その点はどのようにお考えでしょうか。

■答弁・村中町長

一部報道では、本拠地を移すのではないかという記事もありましたが、会社の方針として旭川を中心としたこの道北地域で頑張りたいという思いは揺るがないものだと考えます。

□質問・大熊議員

来シーズンもヴォレアス北海道には、期待したいところです。今後もそのヴォレアス北海道とより連携を密にして事業展開を行っていただきたいと思います。

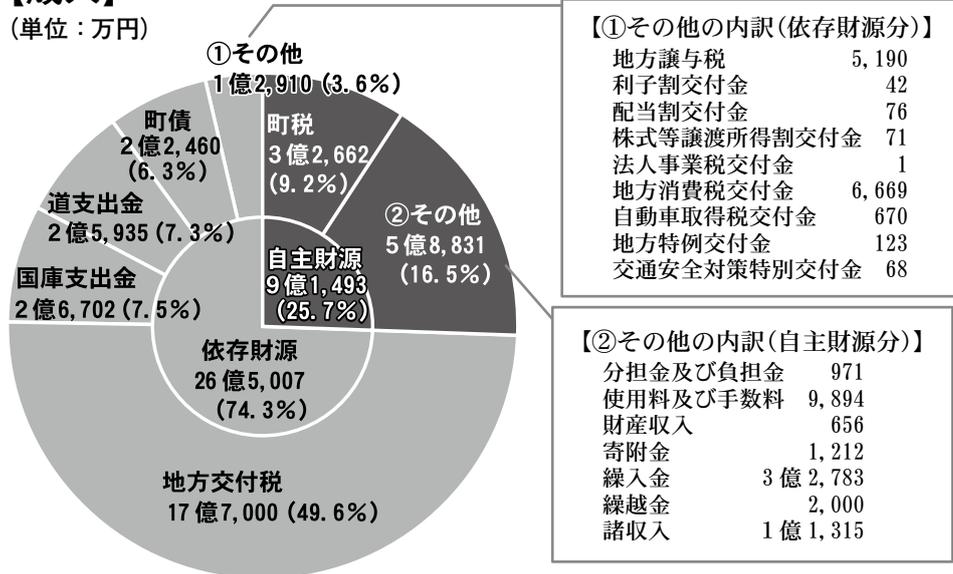
■答弁・村中町長

今までは交流をメインに研修会、講演会を開催していただいております。そういったことから一歩進んで、町民の運動や健康事業にも関わってもらえるように、これからも研究を深めたいと思えます。

一般会計歳入歳出予算 35億6,500万円

【歳入】

(単位：万円)



【①その他の内訳(依存財源分)】

地方譲与税	5,190
利子割交付金	42
配当割交付金	76
株式等譲渡所得割交付金	71
法人事業税交付金	1
地方消費税交付金	6,669
自動車取得税交付金	670
地方特例交付金	123
交通安全対策特別交付金	68

【②その他の内訳(自主財源分)】

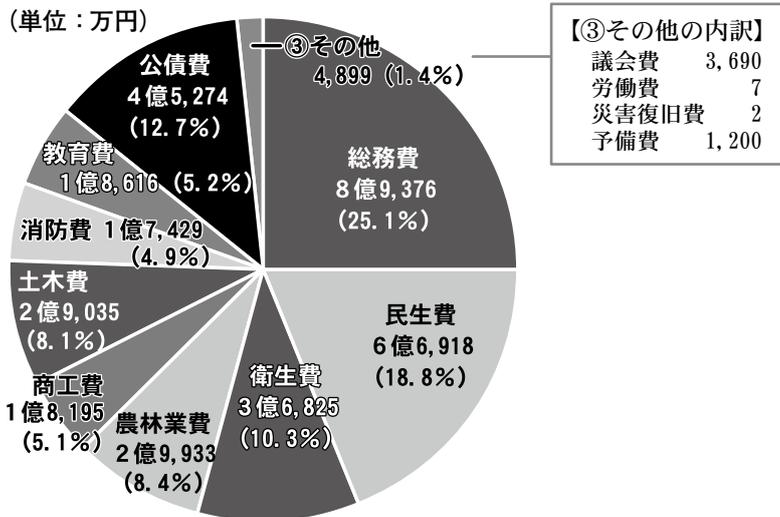
分担金及び負担金	971
使用料及び手数料	9,894
財産収入	656
寄附金	1,212
繰入金	3億2,783
繰越金	2,000
諸収入	1億1,315

令和2年度の予算は、議長を除く議員8人で構成する
予算特別委員会（委員長 佐藤康則 副議長）において
審議され、原案のとおり可決しました。

令和2年度当初予算を可決 予算総額 52億5893万円

【歳出】

(単位：万円)



【③その他の内訳】

議会費	3,690
労働費	7
災害復旧費	2
予備費	1,200

■令和2年度会計別予算■

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一般会計	35億6,500万円	41億3,100万円	▲13.7%
国民健康保険特別会計	5億5,580万円	5億5,628万円	▲0.1%
後期高齢者医療特別会計	6,890万円	6,514万円	▲5.8%
介護保険特別会計	5億8,015万円	6億864万円	▲4.7%
観光事業特別会計	1億6,766万円	1億4,332万円	▲17.0%
簡易水道事業特別会計	2億4,944万円	2億1,410万円	▲16.5%
公共下水道事業特別会計	7,198万円	6,903万円	▲4.3%
合計	52億5,893万円	57億8,751万円	▲9.1%



一般会計（歳入）

▽町税関係

【今井委員】たばこ税を財源として4月から始まる改正健康増進法のもと、受動喫煙防止対策として町内で新たに喫煙のできる場所の設置を考えることはできないか。

【総務企画課長】たばこ税については使い道を定めた税としていませんが、吸う権利と受動喫煙をさせない権利を守りながら、公共施設における対策の一部として有効に活用していきます。

一般会計（歳出）

▽総務費関係

【今井委員】町の障がい者雇用の実態について、また、個々の状況に応じて業務内容も配慮した雇用を行っているのか。

【総務企画課長】国より障がい者雇用の促進を求められており、本町でも現在1名を雇用していますが、基準ではもう1名必要となりましたが、募集も行ってきまりましたが庁舎環境や業務との適性もあることから、保健福祉課とも連携しながら進めていきたいと考えます。



スマホ教室

【植西委員】防災行政無線について、現在町が行っているSNS、ラインで代替できないか。また、そうすることで生じる受信機を再利用していくことはできないか。

【総務企画課長】防災無線とあわせて、さらに細かい情報はSNS、ラインを活用してもらいたいと考えており、受信機の状態が悪いときには、その都度対応していますので、配置を減らす考えはありません。また、SNSの利用の少ない高齢者の方にスマホ教室の開催なども進めます。

【安藤委員】働く女性応援事業について、要件を緩和することなどがどの様な内容か。

【総務企画課長】現在は、厚生労働大臣が指定する教育訓練給付金受給者としていましたが、町内事業所で働くにあたって専門的な知識

を得るための資格についても一定程度対象とする予定です。

▽民生費関係

【遠藤委員】民生委員・児童委員について、なり手が少なくなる中で報酬と業務内容についてどう考えているのか。

【保健福祉課長】民生委員・児童委員については、児童福祉委員としての報酬としていますが、業務も複雑化している中で多いとはいえず、なり手不足もあるところです。制度的に必要な業務もありますが、委員が有する地域の情報を共有することを第一に、個々の負担とならないよう連携していきたいと思えます。

【安藤委員】訪問看護ステーションについて、4町合同ということであれば、なかなか満足できる内容にならないのではないかと。今後の需要を踏まえたシステムを構築する考えはないか。

【保健福祉課長】現在は当麻町にある地域訪問看護ステーションに設置負担金を支出しており、単独での設置は難しい状況ですが、十分なサービスが行き届くよう対応します。



高齢者等移動支援・ぴぴたく号

【植西委員】生活支援サービス事業について、蘭留駅の継続方針により、それ以外の地域についてはぴぴたくを増やしてほしいとの声もある。台数を増やすことはどう進めるのか。

【村中町長】蘭留駅に関しては当面、町で維持するという判断をしました。ぴぴたくについては、利用時間についての意見は伺っていますが、台数を増やすことで必ずしも利便性が高まるとはいえませんし、現在、町内にはぴぴたくに限らず、観光バスやスクールバスなど複数ある交通システムも利用対象者が限られていることから、これらを活用してより良い比布町の交通の仕組みについて検討を進めます。

【谷口委員】小規模保育について申請状況と補助金の考えは。

【保健福祉課長】申請者は6名で他にも移行希望がある状況です。補助金については、民間としての営業努力の意向もありますが、初めての事業でもあることから、半年間としています。

【植西委員】中央ふれあい広場の管理については、防犯の面や管理する人手の問題などから、垣根となっている樹木を撤去していくなど管理方法を改善する考えはないか。

【保健福祉課長】危険となる樹木については伐採していきませんが、自然環境も必要と考えています。防犯の面も含めて今後の管理について高齢者事業団とも協議しながら検討します。

【安藤委員】子どもの一時預かりを行っているハッピーは最低賃金より安く、会員の募集も困難となっ



中央ふれあい広場で遊ぶ園児

てきている中で、町の子育て支援での位置づけについてはどの様に考えているのか。

【保健福祉課長】小規模保育所の設置など、ハッピーの発足当初とは状況が変わってきていることから、どのような活動ができるのか改めて確認をする中で、町としてお願いできる部分について調整していきます。

▽衛生費関係

【渋谷委員】火葬場が完成し、合同墓の考え方が示されたが、規模や今ある観音像の利用については、

【保健福祉課長】合同墓については、これまで使用していた火葬場の建物内部を改修して5000〜6000体程度は収納できるものと考えています。老朽化により危険な状態にある煙突部分を撤去するなど、500万円程度掛かると見込んでいます。なお、観音像はそのまま利用します。

▽農林業費関係

【大熊委員】交流促進施設費について、今回のコロナウイルス感染症によって遊湯びっぷの運営に相当

の影響があるが、補填^{ほてん}についての考えはあるのか。

【渋谷委員】協定書の中で、突発的な事項については記載があると思うが。

【産業振興課長】現状、早々に補填が必要と聞いてはいませんが、決算期における最終的な収支での判断となると考えています。指定管理料の支払いについては、収支の状況等で緊急的に前倒ししなければならぬ必要があれば協定書に基づき協議をしていきたいと思えます。

▽商工費関係

【谷口委員】村上山公園は景色も良いことから利用を促す施策はできないか。

【産業振興課長】景色の良い公園



桜の名所・村上山公園

であることから通年ではありませんが、時期によっては来場者もあります。草刈り等の管理を増やし、利用者の状況を確認していきませうが、老朽化した東屋については修繕も困難なことから解体を予定しています。

【今井委員】町内のスーパー、コンビニについて、町として存続の必要性を伝えて理解をもらう必要があるのではないか。

【産業振興課長】現状の店舗については存続が必要と考えていますので、状況を伺いながら場合によっては対策を協議します。

【村中町長】町としては農業は「基幹産業」、商工業は「必要産業」と思っており、商工業振興、商店の維持存続についてはこれからも取り組んでいきます。また、町民の方が利用することにより店舗を維持し、町の暮らしやすさを自らが守っていくということも大切だと思っています。

▽土木費関係

【遠藤委員】公営住宅に設置されている備品について、入居後に修繕トラブルが起きないよう配慮すべきではないか。



北町令和団地

【建設課長】 公営住宅は建物の建設年度によって設備が異なりますが、町で設置したもので入居者の責任によらない部分は町で修繕を行っており、入居時にも「しおり」などで説明していますので、トラブルはほとんどありません。前入居者の設置したものを同意して引き継いだ場合には、家賃にも含まれていませんので、修繕等に関しては入居者の負担となります。

【大熊委員】 新団地建設事業で北町令和団地A棟は完了したが、今後の令和団地建設に関する計画は。

【建設課長】 新年度に住生活基本計画と公営住宅等長寿命化計画の見直しを予定しており、その中で今後の方向性についての意見や住民アンケートによる内容も参考に進めていきます。

▽消防費関係

【榎西委員】 消火栓の設置計画で必要な箇所数と期間、また、水量の問題はないのか。住民の不安を解消するためにも早いペースで設置すべきでは。

【消防署長】 10箇所程度は必要と考えています。近年は年2基ずつ増やしており、費用もあることから協議しながら設置を進めます。また、水量については標高の上がる場所や水道管の口径が細く水圧が保てない場所には設置が難しいです。



消火栓を点検する消防職員

▽教育費関係

【遠藤委員】 図書館の図書購入費が年々減少している中、学校には司書が常勤していない。司書の配置



としょかんまつり

と町民の利用促進に向けた新たな事業の考えは。

【生涯学習課長】 現状、学校図書を購入については教員が図書館司書と協議をしながら行っており、配置は考えていませんが、今後、学校に訪問して児童にアドバイスができないかなどの協議を行います。図書館では様々なイベントを行っており、引き続き工夫をしながら内容を充実させていきたいと考えています。

【大熊委員】 運動と脳に関する事業については、子ども世代に限らず幅広い世代を対象とした事業なのか。

【生涯学習課長】 事業については特殊な形状のゴムボールを投げたり受けたりすることで運動と脳に発達が見られるとの研究結果を基にしたもので、小学生以下の子ども

が利用できるようボールや図書の購入、開発者の群馬大学の小山先生の講演を考えています。

【谷口委員】 元年度から小中一貫教育が始まり課題もあるとの話であったが対策は。

【北川教育長】 5年間の研究実践の取り組みを経て昨年から小中一貫教育が支障なく始められており、中一ギャップの軽減を含めて流れができています。しかし、従来の小・中学校の枠の中にとどまっている面などの課題もまだ残っており、今後は義務教育学校を視野に進めていきます。

【今井委員】 不登校への対応は地域や身近な大人が向き合う必要があると考えるが、ALTまたはスクールソーシャルワーカーなどの必要性の考えは。



7か月健診でボールをプレゼント

【北川教育長】 A L Tについては授業を行う担任に加え、発音や国際文化などを理解してもらおうための外国語教育に大きな役割があると考えています。また、スクールソーシャルワーカーについては、不登校への対応は当然に教員が中心となることが重要となってきますが、教員だけでは解消できない面についてスクールソーシャルワーカーや関係機関と連携しながら解決していく必要があると考えています。

簡易水道事業特別会計（歳入・歳出）

【遠藤委員】 固定資産台帳作成委託料について、今後の水道事業を一部事務組合や広域連携、民間に委託していく考えで行うのか。

【建設課長】 公営企業会計を適用す



小中学校合唱交流会

るために簡易水道事業の資産などについて調査するもので、経営権を民間に委託することとは関係ありません。

【村中町長】 本町の簡易水道事業会計は厳しい経営状況ですので、民間が引き受けることはまずないと考えていますので、今後も町営として行います。

総括質疑

【遠藤委員】 良佳村3事業は年間20万人もの来場者があり、その発展が町民の誇りにもなるのでは。近年パークゴルフの人口が減少傾向にあることから、一部を子育て世代向けの自然体験の場として変えることもできるのでは。

【村中町長】 観光事業については、施設やお金そのものだけではなく、



グリーンパークぴっぷ

比布町の存在が知れ渡るとい価値があるとも考えています。また、パークゴルフ場については遊湯ぴっぷ、スキー場を含めた良佳村全体として、経済や雇用を含め比布町のためになる施設となるよう、今後3年間で方向性について関係者や専門家を含め検討を進めていきます。

【今井委員】 町政執行方針にあると

おり、比布町の産業振興についてゆめぴりか発祥の地としてのブランド化への方策、冬いちごの需要と供給との考えやいちご農家数を増やす考えは。また、ぴっぷスキー場を民間に営業を譲渡する考えと夏場利用、DMOとの連携は。

【村中町長】 ゆめぴりかについてはライスファクトリーを改修したことで効果があると聞いており、主要作物であることから引き続き注



冬いちご

力していきます。

また、冬いちごに関して市場関係者と需要について話しており、栽培体系を確立するとともに農家戸数を増やすことで供給量の確保とブランド化を進めます。先般、町内で洋菓子店がオープンしましたが、付加価値をつけた販売、新規就農にもつなげていければと考えています。

スキー場については民間での意見もあります。現在は町営である以上、町民のためのスキー場という位置づけです。夏場の利用に関しては最近、自然を生かした様々な遊び方があることから可能性を探っていきます。なお、DMOとは今後も共通リフト券や情報交換など連携を図り、スキーヤー等に楽しんでいただければと思います。



ぴっぷスキー場

委員会の活動



総務常任委員会

2月26・27日開催

【総務企画課】

《報告事項》

- 第1回議会定例会提出議案
- 令和2年度地方財政対策計画
- 令和2年度各会計予算案

《協議事項》

■ 第1回議会定例会提出議案

◇ 令和元年度総務企画課関係補正予算案

地方消費税交付金、町有住宅売払い（2棟）、まちづくり応援寄附金、蘭留・東園地区無線インターネット・遊湯びっぶエアー施設整備など

◇ 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
◇ 比布町役場課設置条例の一部改正

Q…委員からの質疑
A…担当からの回答

◇ 職員の旅費に関する条例の一部改正

◇ 予算概要表・職員給与費の説明

■ JR 蘭留駅、北比布駅、南比布駅について

令和3年3月のダイヤ改正で南・北比布駅は廃止。蘭留駅は子どもが利用するうちは廃止をしないしてほしいなどの要望があり、維持することになりました。なお、蘭留駅は今回、自治体が残しても廃止対象には変わりありません。

【税務住民課】

《報告事項》

- 令和元年度町税等の収納状況（1月末）
- 上川広域滞納整理機構の収納状況等
- マイナンバーカードの交付状況

《協議事項》

■ 固定資産評価審査委員会条例の一部改正

■ 令和2年度税務住民課関係予算案
個人町民税・法人町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・滞納繰越分の積算資料に基づく説明など

【保健福祉課】

《協議事項》

■ 令和元年度保健福祉課関係補正

予算案

■ 令和2年度保健福祉課関係予算案

Q 合同墓整備事業はいつから、いくら掛かるか。

A 令和2年度中に供用を開始したい。煙突部分の撤去など改修費に約1,500万円掛かる見込みとなっております。

■ 火葬場関係諸工事等発注状況

■ 小規模保育所開設に係る進捗状況等



うれしば保育園びっぶ開園式

【生涯学習課】

■ 新型コロナウイルス感染症関連

道知事の要請で2月27日～3月6日まで小中学校を臨時休校。体力・健康保持に努めます。

■ 卒業生の進路状況

■ 小学校の通知表2学期制導入

4月から小学校で通知表の発行を年2回に変更し、教職員と子どもたちが、さらに向き合える時間の確保に努めていきます。東川町、

東神楽町ではすでに導入されており、2年度から鷹栖町も導入を予定しています。

《協議事項》

■ 令和元年度教育費関係補正予算案

■ 令和2年度教育費関係予算案

《報告事項》

■ 令和2年度児童生徒数と学級編制数

中央小12学級147名・教職員は22名、中学校5学級84名・教職員は15名



中央小学校新1年生の教室

■ 学校運営協議会について

令和元年度は4回の協議会が開かれ、関係者全員が目標を共有し、立場・責任を理解した上で意見を交わす熟議が行われました。それぞれが当事者として役割を担い、取り組むことで、人が入れ替わっても様々な課題に対応できる未来を見据えた持続可能な体制をめざし、話し合いがされました。

令和元年度「君の夢プロジェクト」推進事業

中学校修学旅行支援と5部活動支援、講演会が実施されました。

■全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

■学校給食について

■小学生学習支援事業「ぶつくん寺子屋」

総務常任委員会 5月1日開催

【総務企画課・保健福祉課】

《協議事項》

■第2回議会臨時会提出議案

◇令和2年度一般会計補正予算案

産業建設常任委員会 3月2日開催

【産業振興課】

▽農林部門

《報告事項》

■令和2年度産米「生産の目安」

■ぴっぴいちご再振興について

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和元年度農林業費補正予算案

◇令和2年度農林業費予算案

令和元年度担い手確保・経営強化支援事業

▽商工・観光部門

《報告事項》

■令和元年度各施設の利用状況

■令和元年度商工業関係支援補助

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和元年度商工・観光関係補正予算案

◇令和2年度商工・観光関係予算案

◇令和2年度商工・観光関係予算案

■遊湯ぴっぴ指定管理者協定について



冬いちご視察研修 (ホクレンくるるの社)

【建設課】

《報告事項》

■除雪車両事故について

■建設工事の発注及び進捗状況

《協議事項》

■比布町道路占用料徴収条例の一部改正

■比布町道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正

■比布町営住宅管理条例の一部改正

■比布町特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正

■町有住宅使用条例の一部改正

■令和元年度建設課関係補正予算案

■令和2年度建設課関係予算案

■令和2年度工事予定案

【農業委員会】

《報告事項》

■農地法及び基盤強化法による農用地集積状況

《協議事項》

■令和2年度農業委員会関係予算案

産業建設常任委員会 3月12日開催

【産業振興課】

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和元年度農林業費補正予算案

■新型コロナウイルス感染症への対応等について

産業建設常任委員会 5月1日開催

【産業振興課】

《協議事項》

■第2回議会臨時会提出議案

◇令和2年度商工費補正予算案

■新型コロナウイルス感染症への対応等について

全員協議会 5月1日開催

■新型コロナウイルス感染症への対応等について

常任委員会 現地視察調査

3月12日に総務・産業建設常任委員会合同の現地調査が行われ、新たに完成した北町令和団地A棟及び比布火葬場を視察しました。

なお、新比布火葬場は4月より供用を開始しており、これまでに使用していた火葬場は、合同墓として整備される予定です。



議会のうごき

2月

- 11日 道議「たけうち英順連合後援会新年交礼会」
(美瑛町、議長)
- 13日 道北地方森林・林業・林産業活性化議員連盟連絡会令和元年度総会
(旭川市、産建委員長)
- 14日 上川中央部市・町議会議長会定例会議
(当麻町、議長)
- 17日 上川町村議会議長会定期総会・行政懇談会
(旭川市、議長)
- 26日 総務常任委員会 ～ 27日 (役場、委員・議長)
- 28日 大雪浄化組合議会定例会
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会
(役場、組合議員)

3月

- 2日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 4日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 9日 第1回議会定例会 ～ 12日 (役場、全議員)

- 10日 令和2年度予算特別委員会 (役場、全委員)
- 12日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 24日 大雪消防組合議会定例会 (美瑛町、組合議員)

4月

- 20日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 28日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)

5月

- 1日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 全員協議会 (役場、全議員)
- 第2回議会臨時会 (役場、全議員)

編集後記



比布町は、農作業真っ盛りの季節となりました。今冬は雪が少なく雪解けも早いため、作業も例年どおりか、それ以上に進んでいるのではないかと思います。

しかしながら、猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響により、3月からは感染拡大防止のため、各種イベント等が中止や延期、縮小などに追い込まれ、一向に終息の見えない状況が続いています。感染しない、させないために、まず私たち一人ひとりが意識することが大切です。

新年度に入り、新入学や新入社の時期であり、新しい環境での生活が始まりました。特に、小学校新1年生は期待を胸に入学したことでしょう。入学式は縮小となりましたが、先生方や2年生から6年生の先輩とともに、勉強など楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

少年団や部活動に汗を流す姿、子どもたちが元気に登下校する姿、笑顔と笑い声の絶えない平穏な日常に一日でも早く戻ることを切に願います。

(大熊 勝幸)

議会広報特別委員会

委員長 安藤 裕子
副委員長 谷口 雅浩
委員 遠藤 ハル子

大熊 勝幸
佐藤 康則